

令和6年度

事業計画書

公益財団法人たましん地域文化財団

## I. 令和6年度 事業計画の概要

公益財団法人たましん地域文化財団は、設立時の基本理念を念頭に、美術・歴史の文化振興に努め、多摩地域の人々の新しい価値の創造とともに豊かな生活と活力ある地域の文化形成に寄与することを使命として、多くの方に喜んでいただけるよう令和6年度についても積極的に事業を実施してまいります。

公1(美術館・ギャラリーの運営事業)については、「たましん美術館」(立川市)をメインの館として企画展を4会期開催予定です。第1会期の「めぐる、であう コレクションのなりたち」は、多摩信用金庫のこれまでの文化活動によって築かれたコレクションの成り立ちを、会場を歩きながら鑑賞者に感じていただく内容となっております。第2会期の浮世絵 歌川広重「名所江戸百景」は、歌川広重「名所江戸百景」とともに多摩地域の風景を写した浮世絵を展示し、江戸の風俗・文化を紹介します。第3会期の「没後20年 佐藤多持展」では、日本画家・佐藤多持の没後20年を記念して、コレクションによる企画展を行います。第4会期「共催展『源氏物語の新世界』」は、国文学研究資料館が所蔵する『源氏物語』関連資料(写本、画帖、絵巻など)を展示し、また、現役作家と同館研究者がワークショップを重ねて創作した『源氏物語』を題材とした作品も展示します。「たましん歴史・美術館」(国立市)では、たましんコレクションを中心に、テーマをしぼった作品を選定し、展示します。また、展覧会期間中に、トークイベント、ワークショップ、講演会を実施し、作家、作品の魅力を深めていきます。併せて、たましん美術館周辺施設、学校との連携を図り、広く美術の愉しさを知っていただくためのイベントを開催します。

公2(『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業)は、例年通りの事業が中心ですが、令和7年度の『多摩のあゆみ』創刊50周年に向けて、デジタルアーカイブの拡充を検討していきます。また、昨年度より歴史資料室年報を作成し、ホームページに公開しておりますが、新たに、諸活動や所蔵資料に関する広報宣伝活動を目的として、年報の小冊子版を多摩地域の図書館、博物館、関係機関へ配布します。例年実施している多摩の歴史講座においては、今年度においても講座に参加できなかった方のために、講座内容を編集して、オンライン配信をしていきます。また、地域の市史編さん等への協力を通じての各施設との連携、各図書館との資料検索システムの横断的検索を目指すことにより、地域とのネットワークの強化を図っていきます。

## II. 公益目的事業の事業計画概要

当財団の公益目的事業は主に以下の事業、およびそれに付随する事業です。

公1. 美術館・ギャラリーの運営事業(以下「美術」という。)

公2. 『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業(以下「歴史」という。)

# 1. 美術(公1)

## (1) 企画展覧会

### ① たましん美術館

たましん美術館は、今年度4会期の企画美術展を開催します。

#### 1) 「めぐる、であう コレクションのなりたち」

令和6年4月13日～7月7日(70日間)

たましんコレクションの3本柱である「近代絵画」「多摩の作家」「東洋古陶磁」の主要な作品を紹介する展覧会です。これまでの文化活動によって築かれたコレクションの成り立ちを、会場を歩きながら鑑賞者に感じてもらう内容です。

#### 2) 浮世絵 歌川広重「名所江戸百景」

令和6年7月20日～9月16日(51日間)

歌川広重「名所江戸百景」とともに多摩地域の風景を写した浮世絵を展示し、江戸の風俗・文化を紹介します。夏休みの学習教育の一貫として大人も子どもも楽しめる内容とします。

#### 3) 「没後20年 佐藤多持展」

令和6年9月28日～12月22日(70日間)

日本画家・佐藤多持の没後20年を記念して、コレクションによる企画展を行います。《戦時下の絵日誌》から代表作《水芭蕉曼陀羅》まで近年の収集作品・資料を交え作家の生涯の芸術活動を紹介します。

#### 4) 「共催展『源氏物語の新世界』」

令和7年1月11日～3月16日(56日間)

国文学研究資料館との共催展示として、同館が所蔵する『源氏物語』関連資料(写本、画帖、絵巻など)を展示します。また現役作家(地域貢献スペース利用作家)が、国文研の研究者とのワークショップを重ねて創作した『源氏物語』を題材とした作品をあわせて展示します。

### ② たましん歴史・美術館

多摩信用金庫およびたましん地域文化財団の収蔵品の中から、テーマをしばった作品を選定し、3会期展示します。

1) たましんコレクション展1 令和6年4月6日～令和6年7月14日

2) たましんコレクション展2 令和6年7月27日～令和6年11月10日

3) たましんコレクション展3 令和6年11月30日～令和7年3月16日

### ③ たましん本店2階「地域貢献スペース」ギャラリーの運営

たましん本店2階ギャラリーの企画選定員会の実施、展示計画、作家選定、展示作業の監督を行います。

## (2) 調査・研究・収集・保存

### ① 美術館年報の発行

令和 4・5 年度の美術館活動(たましん美術館、たましん歴史・美術館、地域貢献スペース)の記録をまとめ刊行します。

### ② たましんギャラリー記録集(PDF 版)の公開

45 年間にわたり多摩の作家の貴重な発表の場となった「たましんギャラリー(令和元年閉廊)」の活動の記録を PDF でデータ公開します。

### ③ 収蔵庫の環境改善

経年の汚れが蓄積し、カビの発生が確認されている武蔵野収蔵庫の環境改善を行い、専門業者による除塵防黴施工を行うと同時に、カビの被害を受けている美術品のクリーニングを行っていきます。

### ④ 所蔵品の修復および額・保存箱新装

経年劣化のある作品の修復および額装・マット装・保存箱の新装を進めます。

### ⑤ 資料・図書収集

多摩地域の作家の資料、地域の美術に関する図書等を引き続き収集します。

### ⑥ 作品の調査・研究

収蔵する作品・作家に関して調査・研究を進めます。

### ⑦ 美術館運営

展示室蛍光灯、展示用貼りパネルなど美術館運営に必要な資材を計画的に準備していきます。

## (3) 美術講座・美術教育

### ① たましん美術館での各展覧会におけるギャラリートーク

展覧会担当学芸員が展覧会趣旨や見どころ、作品解説をするギャラリートークを行います。

### ② トークイベント、体験型イベント

#### 1) 「没後 20 年佐藤多持展」ワークショップ・講演会

「没後 20 年佐藤多持展」会期中に、一般向け参加型ワークショップおよび講演会を行います。

#### 2) 「国文学研究資料館共催展」ワークショップ・講演会

「国文学研究資料館共催展」会期中に、参加アーティストによる一般向け参加型ワークショップおよび講演会を行います。

### ③ 美術講演会

くにたちギャラリーネットワーク、(公財)くにたち文化・スポーツ振興財団との共催事業として美術講演会を行う。地域の方々に美術に関する知識を深めてもらうことを目的として全 3 回の講演を予定しております。

講師 齋藤陽一氏  
(美術ジャーナリスト、元NHK「日曜美術館」プロデューサー)  
タイトル 「蔦重と3人の浮世絵師」  
会場 くにたち市民芸術小ホール  
募集人員 毎回 60 名(延べ 180 名) 受講料 無料

#### ④ 博物館実習

大学において学芸員養成課程を履修中の学生を対象とした、5 日間程度の博物館実習(講義・実務)を行います。

### (4) 連携

#### ① 地域の学校との連携

多摩地域の中学校の職場体験を受け入れるなどして地域の学校との連携を図り、小中学校の美術館見学も積極的に行っていきます。

#### ② たましん美術館周辺地区との連携

たましん美術館の周辺地区の施設(グリーンスプリングス、立川市)との交流を図り、様々な連携企画を行っていきます。

### (5) 広報・普及活動

#### ① 広報活動の実施と広報活動手段の拡充

当財団及び美術館案内等のホームページへの展覧会情報公開を継続して行います。ポスター・案内はがき・チラシ等の送付、ケーブルテレビ及び新聞社や地域雑誌などの地域向けメディアへの情報提供を積極的に行います。また、SNS や WEB 上でのプレスリリース配信など新たな広報手段を活用していきます。また、夏の教育普及展にあわせ多摩地域の小中学校への広報物配布を行います。

#### ② 展覧会スケジュールの発行

次年度のたましん美術館展覧会スケジュールを発行します。

## 2. 歴史(公2)

### (1) 『多摩のあゆみ』の刊行

下記の通り、各号ごとに特集テーマを予定しています。

194 号 「多摩川流域の馬事と競馬場」(仮題)	令和 6 年 5 月 31 日発行
195 号 「歴史地理の調べ案内」(仮題)	令和 6 年 8 月 31 日発行
196 号 「古代多摩の謎に迫る」(仮題)	令和 6 年 11 月 30 日発行
197 号 「近世豪農の文化と交流」(仮題)	令和 7 年 2 月 28 日発行

## (2) 歴史資料室の運営

多摩地域の歴史・文化に関する図書、雑誌、地図、絵葉書、写真、チラシ等を収集・公開します。それぞれの分類表に基づいて整理し、新たに入手した図書と雑誌は歴史資料室の新书推荐コーナーに展示するとともに、『多摩のあゆみ』の「入手資料のごあんない」欄に書誌情報を掲載します。資料については、当財団のホームページでも検索ができます。

また、伊与田昌男コレクションの利用・公開に向けて、写真資料の保存環境構築及び調査研究を継続して実施していきます。歴史資料室の活動状況については、年報を作成し、当財団のホームページにて公開し、冊子版については、多摩地域の図書館を中心に博物館・関係機関に配布します。

## (3) 多摩の歴史講座

(公財)東京市町村自治調査会多摩交流センターとの共催事業で、5回の連続講座を実施します。(テーマ「多摩の別荘文化」予定)会場は多摩信用金庫府中支店4階会議室を借用し、100名を募集します。受講料は無料です。

また、上記の歴史講座を記録・編集して、インターネットを用いてオンライン配信を検討します。ホームページ、SNSで受講者を募集して、名簿を作成し、期間は限定します。

## (4) 地域とのネットワーク強化

国文学研究資料館(立川市)をはじめ、東京都立多摩図書館、東京都公文書館(ともに国分寺市)等との連携を更に深め、また市史編さん等への協力を通じて各市町村とのネットワークを強化していきます。

また、NPO法人共同保存図書館・多摩(多摩デポ)と連携・協力して、当財団ホームページ資料検索システムの書誌情報を多摩デポ統合検索に組み込んで、都立図書館や市区町立図書館などと横断して検索できるようになることを目指します。

## (5) 「多摩の金融史」関係資料の整理

『多摩のあゆみ』への「多摩の金融史」の連載は計25回となりました。コロナ禍で一時的に中断していた武蔵野支店地下倉庫に保管されている金庫資料(旧多摩中央信用金庫、旧太平信用金庫、旧八王子信用金庫)の調査・撮影・分析を進めていきます。

また、『多摩のあゆみ』第193～196号に掲載の「多摩の金融史」連載をホームページで公開します。なお、ホームページ公開の本連載は「TAMA MIRAI SQUARE」(旧本店)1階のエントランス展示にQRコードを掲示しています。

## (6) 広報・普及活動

### ① 『多摩のあゆみ』発刊、「多摩の歴史講座」開催等告知

『多摩のあゆみ』と歴史資料室の情報を当財団のホームページ、SNSにおいて公開します。「多摩の歴史講座」はホームページと『多摩のあゆみ』及び、共催先の(公財)東京市町村自治調査会ホームページと機関誌『ぐるり39～自治調査会だより～』に告知します。

## ② 歴史資料室所蔵資料のデジタルアーカイブ化

『多摩のあゆみ』に連載中の「赤色立体地図」中の地図画像などを、デジタルアーカイブで公開していきます。また、令和7年度の『多摩のあゆみ』創刊50周年に向けて、デジタルアーカイブの拡充を検討していきます。

## Ⅲ. 収益事業

### 1. 物品販売事業（収1）

#### (1) 物品販売事業

たましん美術館に併設のミュージアムショップでは、オリジナルの絵はがきなどの販売のほか、会期に合わせた関連商品、財団発行の書籍を販売します。また、地域の作家の陶器、染物や地域企業のグッズ、各種雑貨等の委託販売を行います。

## Ⅳ. 管理

### 1. 役員及び役員会等に関する事業(定款第4条第9号)

#### (1) 理事、監事及び評議員の任期

- ① 評議員 令和2年6月22日から就任後4年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
- ② 理事 令和4年6月22日から就任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで(改選期)
- ③ 監事 令和4年6月22日から就任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで(改選期)

#### (2) 理事会等の開催

- ① 理事会 年3回
- ② 評議員会 年2回
- ③ 決算監査 年1回

事業計画の内訳

公益目的事業

1. 美術館・ギャラリーの運営事業(公1)

(定款 第4条 第1項 第1号、第2号、第3号、第4号、第5号、第7号、第8号、第9号)

(予算額 6,386 千円)

(1) 企画展覧会

① たましん美術館

計画事業 通し番号	計 画				事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間	開催 日数		
1	めぐる、であう コレクションのなりたち	自主	2024年4月13日(土)～7 月7日(日)	70	たましんコレクションの3本柱である「近代絵画」「多摩の作家」「東洋古陶磁」の 主要な作品を紹介する。これまでの文化活動によって築かれたコレクションの成 り立ちを、会場を歩きながら鑑賞者に感じてもらう内容とする。	1,160
2	浮世絵 歌川広重「名所江戸百景」	自主	2024年7月20日(土)～9 月16日(月・祝)	51	歌川広重「名所江戸百景」とともに多摩地域の風景を写した浮世絵を展示し、江 戸の風俗・文化を紹介する。夏休みの学習教育の一貫として大人も子どもも楽し める内容とする。	277
3	没後20年 佐藤多持展	自主	2024年9月28日(土)～ 12月22日(日)	70	日本画家・佐藤多持の没後20年を記念して、コレクションによる企画展を行う。 《戦時下の絵日誌》から代表作《水芭蕉曼陀羅》まで、近年の収集作品・資料を 交え作家の生涯の芸術活動を紹介する。	1,282
4	国文研共催展「源氏物語の新世界」	共催	2025年1月11日(土)～ 3月16日(日)(予定)	56	国文学研究資料館との共催展示として、同館が所蔵する『源氏物語』関連資料 (写本、画帖、絵巻など)を展示する。また現役作家(地域貢献スペース利用作 家)が、国文研の研究者とのワークショップを重ねて創作した『源氏物語』を題材 とした作品をあわせて展示する。	688

②たましん歴史・美術館

計画事業 通し番号	計 画				事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間	開催 日数		
1	たましんコレクション展1	自主	2024年4月6日(土) ～7月14日(日)	86	多摩信用金庫およびたましん地域文化財団の所蔵品の中から、テーマをしばつた作品を選定し、展示する。	185
2	たましんコレクション展2	自主	2024年7月27日(土) ～11月10日(日)	108		185
3	たましんコレクション展3	自主	2024年11月30日(土)～ 2025年3月16日(日)	85		185

③たましん本店2階ギャラリー

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	たましん本店2階地域貢献スペース運営	自主	通年	たましん本店2階地域貢献スペースの展示計画、作家の選定、展示・撤収作業の監督を財団学芸員が行う。企画選定委員会の実施も含む。	230

(2)調査・研究・収集・保存

計画事業 通し番号	計 画		事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名			
1	たましん美術館年報の発行		令和4・5年度の美術館活動(たましん美術館、たましん歴史・美術館、地域貢献スペース)の記録をまとめ刊行する。	420
2	たましんギャラリー記録集(PDF版)の公開		45年間にわたり多摩の作家の貴重な発表の場となった「たましんギャラリー(令和元年閉廊)」の活動の記録をPDFでデータ公開する。	0
3	収蔵庫の環境改善		経年の汚れが蓄積し、カビの発生が確認されている武蔵野収蔵庫の環境改善を行う。専門業者による除塵防霉施工を行うと同時に、カビの被害を受けている美術品のクリーニングを行う。	424
4	所蔵品の修復および額・保存箱新装		経年劣化のある作品の修復および額装・マット装・保存箱の新装を進める。	590
5	資料・図書の収集		多摩地域の作家の資料、地域の美術に関する図書等を引続き収集する。	30
6	作品の調査・研究		収蔵する作品・作家に関して調査・研究を進める。	250
7	美術館運営		展示室蛍光灯、展示用貼りパネルなど美術館運営に必要な資材を計画的に準備する。	250

(3)美術講座・美術教育

① ギャラリートーク

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	たましん美術館での各展覧会におけるギャラ リートーク	自主	日時未定	展覧会担当学芸員が展覧会趣旨や見どころ、作品解説をするギャラリートークを行う。	0

②トークイベント、体験型イベント

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	没後20年佐藤多持展 ワークショップ・講演会	共催	日時未定	「没後20年佐藤多持展」会期中に、一般向け参加型ワークショップおよび講演会を行う。	60
2	国文研共催展ワークショップ・講演会	共催	日時未定	「国文研共催展」会期中に、参加アーティストによる一般向け参加型ワークショップおよび講演会を行う。	0

③美術講演会

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	美術講演会	共催	日時未定	くにたちギャラリーネットワーク、(公財)くにたち文化・スポーツ振興財団との共催事業として美術講演会を行う。地域の方々に美術に関する知識を深めてもらうことを目的として全3回の講演を予定。 テーマ 「蔦重と3人の浮世絵師」 講師 斎藤 陽一氏(美術ジャーナリスト、元NHK「日曜美術館プロデューサー」) 会場 くにたち市民芸術小ホール 募集人数 毎回60名(延べ180名) 受講料 無料	100

④博物館実習

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	博物館実習受け入れ	自主	日時未定	大学において学芸員養成課程を履修中の学生を対象とした、5日間程度の博物館実習(講義・実務)を行う。	0

## (4)連携

## ① 学校との連携

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	地域の学校との連携	自主	通年	多摩地域の中学校の職場体験を受け入れるなどして地域の学校との連携を図り、小中学校の美術館見学も積極的に行っていく。	0

## ② たましん美術館周辺地区との連携

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	グリーンスプリングスとの連携	自主	通年	たましん美術館の周辺地区の施設との交流を図り、様々な連携企画を行っていく。	0
2	立川市との連携				

## (5)広報・普及活動

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	広報活動の実施と広報手段の拡充	自主	通年	当財団及び美術館ホームページへの展覧会情報公開を継続して行う。ポスター・案内はがき・チラシ等の送付、ケーブルテレビ及び新聞社や地域雑誌などの地域向けメディアへの情報提供を積極的に行う。SNSやWEB上でのプレスリリース配信など新たな広報手段を活用していく。また、夏の教育普及展にあわせ多摩地域の小中学校への広報物配布を行います。	0
2	展覧会スケジュールの発行	自主	通年	次年度のたましん美術館展覧会スケジュールを発行する。	70

2. 『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業(公2)

(定款 第4条 第1項 第2号、第3号、第4号、第5号、第7号、第8号、第9号)

(予算額 13,129 千円)

(1)『多摩のあゆみ』の刊行

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	194号「多摩川流域の馬事と競馬場」(仮題)	自主	5月	多摩川流域の競馬(くらべうま・けいば)文化について紹介します。多摩地域には、宮廷儀礼である古式競馬とも結びつく馬に関連する遺跡・遺物、近代競馬の発展とともに建設された中央・地方の競馬場が位置しています。そこで、多摩川流域の馬事文化と競馬場について取り上げます。	2,553
2	195号「歴史地理の調べ方案内」(仮題)	自主	8月	都立高校社会科の先生方で作る「地理教材共有化の会」の皆さんに、デジタルアーカイブやグーグルアース、地理院地図等を用いた「多摩の歴史・地理の調べ方の現在」を、高校生をはじめ多摩の歴史・地理に初めてふれる方を対象にご紹介いただきます。	2,553
3	196号「古代多摩の謎に迫るー交通・地方豪族・異文化交流ー」(仮題)	自主	11月	令和5年度(第26回)「多摩の歴史講座 多摩の古代文化」を特集として再編成します。近年の多摩地域では、国府・国分寺の周辺部から古代交通の要所である悲田処、地方豪族の大型居館や武蔵国に移住・定住した蝦夷や渡来人の痕跡が発見されています。古代多摩の交通・地方豪族・異文化交流などの謎に迫ります。	2,553
4	197号「近世豪農の文化と交流」(仮題)	自主	令和7年2月	江戸時代の多摩地域の名主クラスの豪農たちは、村政の仕事と表裏一体で、俳諧・狂歌・和歌・漢詩・書画・茶道・華道などの文化活動をし、交流していました。国立市谷保の本田家や多摩市連光寺の相沢家・富澤家など多摩各地の調査成果を踏まえ、豪農の文化と相互の交流について紹介します。	2,553

(2)歴史資料室の運営

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	歴史資料室の運営	自主	通年	多摩地域の歴史・文化に関する図書、雑誌、地図、絵葉書、写真、チラシ等を収集・公開します。それぞれの分類表に基づいて整理し、新たに入手した図書と雑誌は歴史資料室の到着コーナーに展示するとともに、『多摩のあゆみ』の「入手資料のごあんない」欄に書誌情報を掲載します。また、当財団のホームページでも資料の検索ができます。	470
2	伊与田昌男コレクションの再整理・調査 (保存環境構築および調査研究)	自主	通年	伊与田昌男コレクションは1992年の寄贈以来、写真原板や紙焼き写真、アルバム等の現物整理(28,000点以上)および目録化・デジタルデータ化を進めてきました。しかしながら、写真資料に適した保存環境の整備やネガ・ポジの保存処理は不十分であり、伊与田昌男本人および伊与田作品に関する調査研究も十分に進んでいません。当コレクションの利用・公開に向けて、写真資料の保存環境構築および伊与田昌男に関する調査研究を継続します。	265
3	歴史資料室年報の作成	自主	通年	歴史資料室の主たる事業である『多摩のあゆみ』の刊行、「多摩の歴史講座」の開催、当室の調査・収集、整理・保存、利用・公開、室員の活動報告や各活動における調査・研究成果を発表していきます。なお、制作経費削減のため、年報は職員による編集、当財団ホームページにてオンラインジャーナルとして公開します。新たに、当室の諸活動や所蔵資料に関する広報宣伝活動を目的として、本年報の冊子版を多摩地域の図書館を中心に博物館・関係機関へ配布します。	150

## (3) 多摩の歴史講座

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	多摩の歴史講座	共催	9月～11月(予定)	(公財)東京市町村自治調査会多摩交流センターとの共催事業で、5回連続の講座を実施します。(テーマは「近郊別荘と多摩」を予定しています) 会場：多摩信用金庫府中支店 会議室(予定) 定員：75～100名(予定) 受講料：無料	235
2	多摩の歴史講座ONLINEの配信	共催	3月(予定)	上記の歴史講座を記録・編集して、インターネットを用いてオンライン配信を検討します。『多摩のあゆみ』、ホームページ、SNSで受講者を募集して、名簿を作成し、期間は限定します。	27

## (4) 地域とのネットワーク強化

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	地域とのネットワーク強化	自主	通年	国文学研究資料館(立川市)をはじめ、東京都立多摩図書館(国分寺市)や東京都公文書館(国分寺市)などとの連携をさらに深め、また市史編さん等への協力を通じて、各市町村とのネットワークを強化していきます。	0
2	資料検索システムの横断検索	自主	通年	NPO法人共同保存図書館・多摩(多摩デポ)と連携・協力して、当財団ホームページ資料検索システムの書誌情報を多摩デポ統合検索に組み込んで、都立図書館や市区町立図書館などと横断して検索できるようになることを目指します。	0

## (5) 多摩金融史関係資料の整理

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	「多摩の金融史」関係資料の整理	自主	通年	『多摩のあゆみ』への「多摩の金融史」の連載は、25回目まで掲載してきました。コロナ禍で中断していた武蔵野支店の地下倉庫に保管されている金庫資料(旧多摩中央信用金庫、旧太平信用金庫、旧八王子信用金庫)の調査・撮影・分析を進めていきます。	130
2	「多摩の金融史」関係資料の活用	自主	通年	『多摩のあゆみ』第193～196号に掲載の「多摩の金融史」連載をホームページで公開します。なお、ホームページ公開の本連載は「TAMA MIRAI SQUARE」(旧本店)1階のエントランス展示にQRコードを掲示しています。	10

## (6) 広報・普及活動

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	『多摩のあゆみ』発刊、 「多摩の歴史講座」開催等 告知	自主	通年	『多摩のあゆみ』と歴史資料室の情報を当財団のホームページ、SNSにおいて公開します。また、「多摩の歴史講座」はホームページと『多摩のあゆみ』及び、共催先の(公財)東京市町村自治調査会ホームページと機関誌『ぐるり39～自治調査会だより～』に告知します。	502
2	歴史資料室所蔵資料の デジタルアーカイブ化	自主	通年	『多摩のあゆみ』に連載中の「赤色立体地図」中の地図画像などを、デジタルアーカイブで公開していきます。また令和7年度の『多摩のあゆみ』創刊50周年に向けて、デジタルアーカイブの拡充を検討していきます。	1,128

収益事業

3. 物品販売事業(収1)

(定款第4条第1項第9号)

(予算額 280千円)

(1) 物品販売事業

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	物品販売事業	自主	通年	たましん美術館のミュージアムショップでは、オリジナルの絵はがきなどの販売のほか、地域の作家の陶器、染物等、各種雑貨等の委託販売を行います。たましん美術館の会期に合わせた関連商品の製作販売を検討します。	<u>280</u>

令和6年度

収支予算書

公益財団法人たましん地域文化財団

令和6年度収支予算書(正味財産増減ベース)

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

公益財団法人たましん地域文化財団

(単位:円)

科 目	令和6年度 予算額(イ)	令和6年度 実績額	公益目的事業会計(内訳表)				収益事業等会計		法人会計	令和5年度 予算額(ロ)	増減 (イ)-(ロ)
			公1	公2	共通	小計	収1	小計			
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
基本財産運用益	4,600,000	0	0	4,600,000	4,600,000	0	0	0	4,600,000	0	
基本財産運用益	4,600,000	0	0	4,600,000	4,600,000	0	0	0	4,600,000	0	
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	10,000	△ 10,000	
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	10,000	△ 10,000	
固定資産受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
固定資産受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事業収益	3,210,000	2,750,000	60,000	0	2,810,000	400,000	400,000	0	2,840,000	370,000	
入館料収益	2,550,000	2,550,000			2,550,000			0	2,200,000	350,000	
図録販売収益	200,000	200,000			200,000			0	200,000	0	
出版事業収益	60,000	0	60,000		60,000			0	40,000	20,000	
物品販売収益	400,000	0			0	400,000	400,000		400,000	0	
受取補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	300,000	△ 300,000	
受取寄付金	84,880,000	18,500,000	0	60,000,000	78,500,000	350,000	350,000	6,030,000	78,880,000	6,000,000	
受取寄付金	84,880,000	18,500,000		60,000,000	78,500,000	350,000	350,000	6,030,000	78,880,000	6,000,000	
雑収益	1,910,000	1,530,000	350,000	0	1,880,000	0	0	30,000	1,950,000	△ 40,000	
雑収益	1,910,000	1,530,000	350,000	0	1,880,000	0	0	30,000	1,950,000	△ 40,000	
<b>経常収益計(A)</b>	<b>94,600,000</b>	<b>22,780,000</b>	<b>410,000</b>	<b>64,600,000</b>	<b>87,790,000</b>	<b>750,000</b>	<b>750,000</b>	<b>6,060,000</b>	<b>88,580,000</b>	<b>6,020,000</b>	
(2) 経常費用											
事業費/管理費(法人会計)	95,110,000	54,300,000	33,900,000	0	88,200,000	740,000	740,000	6,170,000	94,590,000	520,000	
売上原価	110,000	70,000	30,000	0	100,000	10,000	10,000	0	110,000	0	
役員報酬	500,000	0	0	0	0	0	0	500,000	500,000	0	
給料手当	22,780,000	11,880,000	10,900,000	0	22,780,000	0	0	0	24,510,000	△ 1,730,000	
臨時雇賃金	9,960,000	5,130,000	3,640,000	0	8,770,000	0	0	1,190,000	8,650,000	1,310,000	
賞与引当金繰入	1,470,000	570,000	900,000	0	1,470,000	0	0	0	1,880,000	△ 410,000	
退職給付費用	730,000	280,000	450,000	0	730,000	0	0	0	870,000	△ 140,000	
法定福利費	4,920,000	2,130,000	2,560,000	0	4,690,000	0	0	230,000	5,270,000	△ 350,000	
福利厚生費	210,000	80,000	70,000	0	150,000	0	0	60,000	200,000	10,000	
旅費交通費	1,530,000	870,000	560,000	0	1,430,000	0	0	100,000	1,500,000	30,000	
通信運搬費	2,920,000	1,050,000	1,460,000	0	2,510,000	10,000	10,000	400,000	2,750,000	170,000	
減価償却費	150,000	50,000	80,000	0	130,000	0	0	20,000	150,000	0	
支払手数料	250,000	70,000	50,000		120,000	70,000	70,000	60,000	130,000	120,000	
消耗什器備品費	200,000	80,000	0	0	80,000	120,000	120,000	0	0	200,000	
消耗品費	2,260,000	1,640,000	380,000	0	2,020,000	30,000	30,000	210,000	1,780,000	480,000	
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
印刷製本費	9,850,000	1,670,000	8,120,000	0	9,790,000	60,000	60,000	0	10,410,000	△ 560,000	
燃料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
光熱水料費	1,000,000	720,000	210,000	0	930,000	0	0	70,000	1,000,000	0	
賃借料	21,970,000	20,650,000	510,000	0	21,160,000	200,000	200,000	610,000	21,380,000	590,000	
保険料	780,000	700,000	10,000	0	710,000	0	0	70,000	820,000	△ 40,000	
諸謝金	1,090,000	90,000	1,000,000	0	1,090,000	0	0	0	1,150,000	△ 60,000	
保守管理費	3,000,000	2,680,000	210,000	0	2,890,000	20,000	20,000	90,000	3,000,000	0	
会議費	570,000	0	150,000	0	150,000	0	0	420,000	370,000	200,000	
支払負担金	100,000	100,000	0	0	100,000	0	0	0	100,000	0	
図書費	340,000	40,000	300,000	0	340,000	0	0	0	310,000	30,000	
委託費	7,480,000	3,480,000	2,240,000	0	5,720,000	0	0	1,760,000	6,710,000	770,000	
研修費	50,000	0	0	0	0	0	0	50,000	100,000	△ 50,000	
宣伝費	40,000	40,000	0	0	40,000	0	0	0	100,000	△ 60,000	
仕入費	220,000	0	0	0	0	220,000	220,000	0	220,000	0	
諸会費	520,000	230,000	70,000	0	300,000	0	0	220,000	510,000	10,000	
交際費	100,000	0	0	0	0	0	0	100,000	100,000	0	
租税公課	10,000	0	0	0	0	0	0	10,000	10,000	0	
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
<b>経常費用計(B)</b>	<b>95,110,000</b>	<b>54,300,000</b>	<b>33,900,000</b>	<b>0</b>	<b>88,200,000</b>	<b>740,000</b>	<b>740,000</b>	<b>6,170,000</b>	<b>94,590,000</b>	<b>520,000</b>	
<b>当期経常増減の部(A)-(B)</b>	<b>△ 510,000</b>	<b>△ 31,520,000</b>	<b>△ 33,490,000</b>	<b>64,600,000</b>	<b>△ 410,000</b>	<b>10,000</b>	<b>10,000</b>	<b>△ 110,000</b>	<b>△ 6,010,000</b>	<b>5,500,000</b>	
2. 経常外増減の部	0									0	
(1) 経常外収益	0									0	
経常外収益計(C)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(2) 経常外費用	0									0	
経常外費用計(D)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常外増減の部(C)-(D)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>△ 510,000</b>	<b>△ 31,520,000</b>	<b>△ 33,490,000</b>	<b>64,600,000</b>	<b>△ 410,000</b>	<b>10,000</b>	<b>10,000</b>	<b>△ 110,000</b>	<b>△ 6,010,000</b>	<b>5,500,000</b>	
<b>一般正味財産期首残高</b>	<b>31,082,788</b>	<b>△ 368,257,393</b>	<b>△ 354,699,040</b>	<b>751,496,464</b>	<b>28,540,031</b>	<b>388,709</b>	<b>388,709</b>	<b>2,154,048</b>	<b>37,092,788</b>	<b>△ 6,010,000</b>	
<b>一般正味財産期末残高(E)</b>	<b>30,572,788</b>	<b>△ 399,777,393</b>	<b>△ 388,189,040</b>	<b>816,096,464</b>	<b>28,130,031</b>	<b>398,709</b>	<b>398,709</b>	<b>2,044,048</b>	<b>31,082,788</b>	<b>△ 510,000</b>	
II 指定正味財産増減の部											
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高	833,677,365	530,586,750	0	302,559,000	833,145,750	531,615	531,615	0	833,677,365	0	
指定正味財産期末残高(F)	833,677,365	530,586,750	0	302,559,000	833,145,750	531,615	531,615	0	833,677,365	0	
<b>III 正味財産期末残高(E)+(F)</b>	<b>864,250,153</b>	<b>130,809,357</b>	<b>△ 388,189,040</b>	<b>1,118,655,464</b>	<b>861,275,781</b>	<b>930,324</b>	<b>930,324</b>	<b>2,044,048</b>	<b>864,760,153</b>	<b>△ 510,000</b>	

令和6年度

# 事業報告書

公益財団法人たましん地域文化財団

## 1. 事業の概要

公益財団法人たましん地域文化財団は、設立時の基本理念を念頭に、美術・歴史の文化振興に努め、多摩地域の人々の新しい価値の創造とともに豊かな生活と活力ある地域の文化形成に寄与することを目的に事業を実施しております。

当財団のメイン館である「たましん美術館」では、たましんコレクションを中心に紹介する企画展覧会「めぐる、であう、コレクションのなりたち」、「浮世絵 歌川広重「名所江戸百景」」、「没後 20 年 佐藤多持展」を開催しました。また、国文学研究資料館との共催企画展「源氏物語の新世界」を開催し、美術・歴史を通じて、地域社会の発展と人々の豊かな生活の形成に貢献していく事業を積極的に展開致しました。結果として、「たましん美術館」の地域における認知度が高まり、2万人を超えるお客さまにご来館していただきました。

令和6年度につきましても、地域の多くの方々に喜んでいただけるよう、美術館の企画展の実施や『多摩のあゆみ』の刊行、デジタルアーカイブの充実等当財団の持つコンテンツを最大限活用した事業を実施致しました。

### (1) 美術館・ギャラリーの運営事業（公1）

「たましん美術館」（立川市）では、企画展を4会期開催致しました。第1会期「めぐる、であう、コレクションのなりたち」は、たましんコレクションの3本柱である「日本近代絵画」「多摩の作家」「東洋古陶磁」の主要な作家を中心に、これまでの文化活動によって築かれたコレクションの成り立ちを紹介する展覧会を開催しました（入館者数 3,090 人：1日平均 44.1 人）。第2会期「浮世絵 歌川広重「名所江戸百景」」は、歌川広重《名所江戸百景》とともに多摩地域の風景を写した浮世絵を展示し、江戸時代の風俗・文化を紹介しました。夏休みの学習教育の一貫として大人も子どもも楽しめる展覧会となりました（入館者数 8,172 人：1日平均 160.2 人）。第3会期「没後 20 年 佐藤多持展」は、日本画家・佐藤多持の没後 20 年を記念してのコレクションによる企画展を開催しました。《戦時下の絵日誌》から代表作《水芭蕉曼陀羅》まで、近年の収集作品・資料を交え作家の生涯の芸術活動を紹介しました（入館者数 2,908 人：1日平均 44.7 人）。第4会期「源氏物語の新世界」は、国文学研究資料館が所蔵する『源氏物語』関連資料（写本、画帖、絵巻など）に加え、若手アーティスト芦川瑞季、成瀬拓己が『源氏物語』を題材とした新作を展示する展覧会を開催しました（入館者数 6,231 人：1日平均 111.3 人）。

「たましん歴史・美術館」（国立市）では、たましんコレクションを中心とする企画展を2会期開催致しました。第1会期「日本漫画会 最近三十年史図絵併設：たましんコレクションの近代絵画」は、明治、大正、昭和初期にかけての

社会を表す風刺画 28 点を 27 名の漫画家が、墨と水彩による軽妙洒脱な筆遣いで描いています。日本近代漫画のあけぼのの時代、そのユーモア溢れる豊かな表現を感じていただける展覧会を開催しました（入館者数 1,158 人：1 日平均 14.0 人）。第 2 会期「コレクションでめぐる 季節のかたみ展」は、四季、二十四節気、七十二候と、日本人は古来、季節の移ろいを敏感にとらえ、様々に表現してきました。たましん歴史・美術館の収蔵品を選抜し、季節の表現という視点からの鑑賞を試みる展覧会を開催しました（入館者数 1,350 人：1 日平均 15.0 人）。第 3 会期については大規模修繕工事に伴う移転準備のため中止としました。

たましん本店 2 階「地域貢献スペース」（ギャラリー）の運営（多摩信用金庫委託業務）では、前年度に企画選定委員会を通じて決定した全 7 会期の作品展の実施にあたり、計画段階からの監督、展示、撤収作業の立ち合いなどを財団学芸員が行いました。

たましん美術館の企画展覧会に組み込んだトークイベントやギャラリートーク、ワークショップ、共催事業の美術講座等はいずれも満席で、参加された方々には大変好評でした。

## (2) 『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営（公 2）

歴史事業の柱である『多摩のあゆみ』は、194 号から 197 号まで 4 回発行しました。各号の特集では、194 号「多摩川流域の馬事と競馬場」、195 号「歴史・地理の調べ方案内」、196 号「古代多摩の謎に迫る」、197 号「近世豪農の文化と交流」を採り上げました。194 号では前近代から近代を通じて展開してきた多摩川流域の馬事文化と競馬場を紹介しました。195 号では高等学校地歴科の先生方のグループ「地理教材共有化の会」の方々に、「私たちの住む多摩及びその周辺地域を、自分なりにいかに調べて理解し、楽しむか」の事例をご紹介いただきました。196 号では多摩地域の新たな古代史像を取り上げた自治体史編さん・博物館の成果を紹介することができました。さらに、多摩地域に伝来する 2 体の白鳳仏を取り上げ、古代多摩の謎に迫りました。197 号では多摩地域における在村文化のネットワークとリンクする豪農の経済活動・社会的交流、情報の流通について紹介しました。

歴史資料室は令和 6 年度に、図書 252 冊、雑誌 262 冊、絵葉書 36 枚、チラシ 5 枚、ポスター 91 枚、合計 655 点を収集・整理しました。また、多摩地域及び全国各地の風景・風物を撮影した伊与田昌男コレクション（写真資料）の保存環境の構築、調査研究を実施しました。歴史資料室の活動状況を報告する年報の第 2 号を刊行し、当財団ホームページにて公開をしました。

例年開催している（公財）東京市町村自治調査会多摩交流センターとの共催事業「多摩の歴史講座」は、「近代別荘と多摩」をテーマに現地見学会を含め全 5

講を実施しました。(募集人数 70 人：応募人数 90 人) 令和 6 年度についても講座内容を編集して動画配信しました。(一時移転に伴う準備作業、引越作業による編集作業遅延のため、配信開始は令和 7 年 4 月より)

多摩金融史研究会の会合を 4 回開催し、『多摩のあゆみ』に連載している「多摩の金融史」にて研究成果を発表しました。また、TAMA MIRAI SQUARE (多摩信用金庫旧本店) 1 階で「多摩の金融史」パネル展示を行い展示パネルの二次元コードから、当財団歴史資料室ホームページ「多摩の金融史」コーナーにリンクし、携帯端末でこれまでの連載が閲覧できるようにしております。

また、『多摩のあゆみ』に連載中の「赤色立体地図」の地図画像や PDF 本文を毎号デジタルアーカイブで公開しました。更に、TRC - ADEAC(株)のデジタルアーカイブシステムに、全国 150 機関(図書館・博物館・大学など)とともに歴史資料室の所蔵資料を公開しました。(令和 6 年度総アクセス数 629,739pv)

### (3) 物品販売事業 (収 1)

「たましん美術館」のミュージアムショップでは、浮世絵歌川広重「名所江戸百景」展の開催に合わせて、オリジナル絵はがきを作成し販売しました。また、会期に合わせ、委託商品のバリエーションを増やしたり、陳列方法を工夫するなどして売上の増加を図りました。

事業計画の内訳

公益目的事業

1. 美術館・ギャラリーの運営事業(公1)

(定款 第4条 第1項 第1号、第2号、第3号、第4号、第5号、第7号、第8号、第9号)

(予算額 6,386 千円) 千円)

(1) 企画展覧会

① たましん美術館

計画事業 通し番号	計 画 項 目				報 告	入館料収入	入館者数(人)
	事 業 名	自主・共催	実施期間	開催 日数	事業内容及び説明	(円)	(有料入館者)
1	めぐる、であう コレクションのなりたち	自主	2024年4月13日(土) ～7月7日(日)	70	たましんコレクションの3本柱である「近代絵画」「多摩の作家」「東洋古陶磁」の主要な作品を紹介する所蔵品展。これまでの文化活動によって築かれたコレクションの成り立ちを、年表パネルや解説パネルによって説明するとともに、来館者と一緒に巡りながら作品に触れられるよう、対話型鑑賞会を初めて取り入れた。	511,400	3,090 (1,087)
2	浮世絵 歌川広重「名所江戸百景」	自主	2024年7月20日(土) ～9月16日(月・祝)	51	歌川広重「名所江戸百景」とともに多摩地域の風景を写した浮世絵を展示し、江戸の風俗・文化を紹介した。描かれた季節ごとにコーナーを作り、簡明な解説とともにその場でめくって回答が読める工夫を凝らしたクイズを添えて、夏休みの学習教育の一貫として大人も子どもも楽しめる内容となった。また、市内の小中学校の全生徒にわたるよう広報物を配送したことで、多くの来場者を迎えることができた。	2,359,700	8,172 (4,841)
3	没後20年 佐藤多持展	自主	2024年9月28日(土) ～12月22日(日)	65	日本画家・佐藤多持の没後20年を記念して、コレクションによる企画展を行った。《戦時下の絵日誌》から代表作《水芭蕉曼陀羅》まで、近年の収集作品・資料を交え作家の生涯の芸術活動を紹介した。併せてコートギャラリー国立やギャラリー国立での佐藤多持展開催、観音寺の特別公開を連携させることで、多角的な佐藤多持作品の理解につなげた。	542,000	2,908 (1,129)
4	国文研共催展「源氏物語の新世界」	共催	2025年1月11日(土) ～3月16日(日)	56	国文学研究資料館との共催展示として、同館が所蔵する『源氏物語』関連資料(写本、画帖、絵巻など)を展示する企画展。また現役作家(地域貢献スペース利用作家)が、国文研の研究者とのワークショップを重ねて創作した『源氏物語』を題材とした作品をあわせて展示した。会期中には隔週で資料館の教員が輪番制でギャラリートークを行い、多くの参加者、リピーターを集めた。	1,680,500	6,231 (3,499)

②たましん歴史・美術館

計画事業 通し番号	計 画 項 目				報 告	入館料収入 (円)	入館者数(人) (有料入館者)
	事 業 名	自主・共催	実施期間	開催 日数	事業内容及び説明		
1	日本漫画会 最近三十年史図絵	自主	2024年4月6日(土) ～7月14日(日)	83	新聞社に所属する漫画家らによって設立された「日本漫画会」。たましんコレクションに含まれる《最近三十年史図絵》に注目し、参加作家27人の作品28点を一挙に公開した。これまでとは異なる漫画好きなお客様の来館が見受けられ、SNSでの反響もみられた。	72,600	1,158 (726)
2	コレクションでめぐる 季節のかたみ	自主	2024年7月27日(土) ～11月10日(日)	89	たましんコレクションの作品を、「季節」の描き方に着目して並べ、それぞれの作家によって異なる表現の在り方を探った。	69,100	1,350 (691)
3	(11月12日より移転の準備のため休館)						

③たましん本店2階ギャラリー

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	たましん本店2階地域貢献スペース運営	自主	通年	多摩信用金庫からの委託業務として、地域貢献スペースの展示を行った。前年度に企画選定委員会を通じて決定した7本の展示の計画段階からの監督、展示・撤収作業の立ち会いなどを財団学芸員が行った。展示内容は以下のとおり。「松寄日奈子 個展 真綿との共生、生成」「澤井昌平展—立川風景—」「河野志保 個展 揺れる恒常性:情報過多の中の自己」「明円光展 あひるの泉」「小野仁美 個展 Boundary-less colors」「わからなさのリアリティ 展」「立川女子高等学校からもっとアートを！展」(当スペースは無料開放エリアのため、入館者数は未計測)

(2) 調査・研究・収集・保存

計画事業 通し番号	計 画 項 目		報 告
	事 業 名		事業内容及び説明
1	たましん美術館年報の発行		令和4・5年度の美術館活動(たましん美術館、たましん歴史・美術館、地域貢献スペース)の記録をまとめ刊行した。
2	たましんギャラリー記録集(PDF版)の公開		45年間にわたり多摩の作家の貴重な発表の場となった「たましんギャラリー(令和元年閉廊)」の活動の記録をPDFでデータ公開する計画にのっとり資料調査を実施。調査未完のため継続事業とする。
3	収蔵庫の環境改善		武蔵野収蔵庫のたましん地域文化財団が管理する3つの区画について、作品全点を移動しての収蔵庫内の清掃作業、除塵防霉作業を行い、環境改善を進めた。さらに、たましん歴史・美術館の一時移転に伴い、仮の収蔵場所の確保、環境の確認など、事務局及び歴史資料室とともに協力して実施した。
4	所蔵品の修復および額・保存箱新装		佐藤多持の作品修復を実施。143点についてマット新装実施。佐藤多持作品11点の保存箱新調を実施した。
5	資料・図書の収集		横山操《ふるさと》(株式会社曙製作所代表取締役社長 田宮茂氏より)、真鍋英雄《丘の上から(あれから37年)》《隠者の誘惑》《霧の森から》(真鍋弘氏より)、鶴田吾郎《目立て》(仮称、三多摩林業株式会社社長 坂東輝久氏より)の寄贈を受けた。多摩地域の美術に関する図書等の収集を行った。
6	作品の調査・研究		たましん歴史・美術館におけるコレクション展に向けた作品研究を行ったほか、たましん美術館においても、収蔵品を活用した展覧会を3本企画し、作品・作家研究を進めた。一報で寄贈の申し出を受けた作品調査に参加し、さらに移転を契機とした所在確認、コンディション確認を行うとともに、次年度以降の企画に向けた研究も進めた。
7	美術館運営		展示室蛍光灯、展示用貼りパネルなど、展覧会開催の機会に応じて必要な資材を購入した。

## (3)美術講座・美術教育

## ① ギャラリートーク

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	たましん美術館での各展覧会におけるギャラリートーク (コレクションのなりたち展)	自主	ギャラリートーク:4月20日 (土)、6月8日(土)、対話型 鑑賞会:5月11日(土)、6月 22日(土)各14:30～	ギャラリートークでは、担当学芸員(佐藤菜々子)が展覧会の趣旨や概略を解説し、対話型鑑賞会では数点の作品を厳選して、来場者から感想を引き出しながら一緒に鑑賞する初めての試みを実践した。
2	たましん美術館での各展覧会におけるギャラリートーク(名 所江戸百景展)	自主	ギャラリートーク:8月3日(土) 14:00～	担当学芸員(藤森梨衣)が展覧会の趣旨や概略を解説した。
3	たましん美術館での各展覧会におけるギャラリートーク (源氏物語の新世界展)	共催	1月11日(土)、1月25日 (土)、2月8日(土)、2月22 日(土)各14:30～	国文学研究資料館から、展示資料に関わる各専門の教員が来場し、歴史的背景や見どころについて、それぞれの見地から解説した。

## ②トークイベント、体験型イベント

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	名所江戸百景展ワークショップ 紙版画の短冊で風鈴を作ろう!	自主	8月17日(土)、24日(土)	画家の酢平☆を講師に迎え、Winセンターを会場に、江戸百景の場面を切り取ったパーツなどを用いた紙版画を作り、風鈴を組み立ててシールで飾った。
2	佐藤多持展 学芸員によるスライドトーク	自主	11月24日(日)	担当学芸員(藤森梨衣)が、展覧会の見どころと作家の生涯を紹介した
3	国文研共催展トークイベント&ワークショップ 「源氏とあそぶ。源氏をまとう。」	共催	1月31日(金)	国文学研究資料館でのアーティスト・イン・レジデンスプログラムで活動中の作家芦川瑞希、成瀬拓己及び元参加アーティストである漆芸家・染谷聡氏を迎えて、同館副館長の入口氏コーディネートによるトークショーを実施。その後、染谷氏による古典籍の画像のコラージュと漆を用いた封筒作りのワークショップを実施した。

## ③美術講演会

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	美術講演会 美術講座(連続3回)「葛重と3人の浮世 絵師～歌麿・写楽・北斎～」	共催	9月4日(水)・11日(水)・18 日(水)	くにたちギャラリーネットワーク、(公財)くにたち文化・スポーツ振興財団との共催事業として美術講演会を行う。地域の方々に美術に関する知識を深めてもらうことを目的として全3回の講演。 テーマ 「葛重と3人の浮世絵師」 講師 斎藤 陽一氏(美術ジャーナリスト、元NHK「日曜美術館」プロデューサー) 会場 くにたち市民芸術小ホール 募集人数 毎回60名(延べ180名) 受講料 無料

## ④博物館実習

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	博物館実習受け入れ	自主	8月13日(火)～17日(土)	大学において学芸員養成課程を履修中の学生4名を対象に、5日間の博物館実習(講義・実務)を行った。

## (4)連携

## ① 学校との連携

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	地域の学校との連携	自主	通年	浮世絵 歌川広重「名所江戸百景」展においては、市内の小中学校の全校生徒に向けた広報物配布を行い、多くの親子連れの来館を見ることができた。一方で、日野市平山中学校美術部、小金井市南中学校美術部、東村山第二中学校などからグループでの来館を受入れた。また地域貢献スペースでは立川女子高等学校の美術指導教諭が展示を行うなど連携した。

## ② たましん美術館周辺地区との連携

計画事業 通し番号	計 画 項 目		報 告
	事 業 名	実施期間	事業内容及び説明
1	グリーンスプリングスとの連携	通年	グリーンスプリングス内のPLAY!ミュージアム、昭和記念公園の案内センター、ステージガーデン等とは展覧会広報物の相互設置を行い、ファールアートについてはシンポジウム聴講などによって交流した。国文学研究資料館とは美術館において共催展を行うことにより、さらに連携を強めることができた。その他、羽村市生涯学習センターの講座を受け持ったり、立川市地域文化振興財団の鑑賞ツアーを受け入れるなど多摩地域の施設・団体との連携を推進した。
2	立川市との連携		
3	昭和記念公園との連携		
4	国文学研究資料館との連携		

## (5) 広報・普及活動

計画事業 通し番号	計 画 項 目		報 告
	事 業 名	実施期間	事業内容及び説明
1	広報活動の実施と広報手段の拡充	通年	当財団・美術館ホームページへの展覧会情報公開および関係各所へのポスター・チラシ等の送付、市政記者クラブ、新聞社や雑誌など地域向けメディアへの情報提供を継続して行った。特に夏の展覧会では多摩地域の小中学校へ集中的に広報物を配送した。また、X(旧Twitter)の公式アカウントやウェブ告知サイト等を活用した美術館事業の積極的な発信を実施した。
2	展覧会スケジュールの発行	通年	次年度のたましん美術館展覧会スケジュールを発行した。

2. 『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業(公2)

(定款 第4条 第1項 第2号、第3号、第4号、第5号、第7号、第8号、第9号)

(1)『多摩のあゆみ』の刊行

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告	発行部数(部)
	事 業 名	自主・共催	刊行日	事業内容及び説明	
1	194号「多摩川流域の馬事と競馬場」	自主	5月31日	ヒトと馬の歴史は長く、多摩地域では古代牧に推定される遺跡が発見されています。そこで飼育された馬は古代交通の担い手となるのみならず、天皇に献上され宮廷儀礼にも参加していました。さらに、多摩川流域には、近代競馬の隆盛に伴い中央・地方の競馬場が建設されました。これらの競馬場は、人々の娯楽にのみならず、地域社会の発展にも寄与してきたことが明らかとなりました。本号では、前近代から近代を通じて展開してきた多摩川流域の馬事文化と競馬場を紹介することが出来ました。	10,000
2	195号「歴史・地理の調べ案内」	自主	8月31日	高等学校地歴科の先生方のグループ「地理教材共有化の会」の方々に、私たちの住む多摩及びその周辺地域を、自分なりにいかに調べて理解し、楽しむか」の事例をご紹介いただきました。また同会のホームページ「地理教材共有サイト」に本特集特設ページを設け、インターネットを通じて特集のpdfをダウンロードできるようにしました。	10,000
3	196号「古代多摩の謎に迫る」	自主	11月30日	令和5年度「第26回 多摩の歴史講座(多摩の古代文化)」の好評を得て、2010年以来の古代史特集となりました。この間、多摩地域では、発掘調査による発見を中心に様々な事実があきらかとなってきました。本号では、多摩地域の新たな古代史像を取り上げた自治体史編さん・博物館の成果を紹介することができました。さらに、多摩地域に伝来する2体の白鳳仏を取り上げ、古代多摩の謎に迫りました。	10,000
4	197号「近世豪農の文化と交流」	自主	令和7年 2月28日	18世紀後半から江戸近郊の村々では経済が活性化し、俳諧・川柳・和歌・漢詩・立花・書画・儒学・国学・蘭学・医学・剣術など、都市の文化の受容・発展が見えます。多摩地域における、こうした在村文化のネットワークとリンクする豪農の経済活動・社会的交流、情報の流通について紹介しました。	10,000

## (2) 歴史資料室の運営

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	歴史資料室の運営	自主	通年	令和6年度は、図書252冊、雑誌262冊、絵葉書36枚、地図5枚、チラシ9枚、ポスター91枚、合計655点を収集・整理しました。 今期末現在で図書28,008冊、雑誌16,894冊、絵葉書6,550枚、地図1,858枚、チラシ566枚、ポスター4,873枚を所蔵しています。 なお、当年度の閲覧者用紙への記名数は293名でした。多摩信用金庫国立支店大改修による当財団の一時移転で11月10日に閉室となったため、例年より少ない記名数となっています。
2	伊与田昌男コレクションの再整理・調査 (保存環境構築および調査研究)	自主	通年	伊与田昌男コレクション(1992年寄贈)は約28,000点に及ぶ写真資料です。撮影者である伊与田昌男は八王子出身の写真家であり、当コレクションは多摩地域及び全国各地の風景・風物を撮影した貴重な資料群といえます。 令和6年度は、昨年度から引き続き、写真原板(ネガフィルム)の長期保存に適した環境構築を目的として、ドライキャビネットの導入、写真保存専用梱包材へのリハウジング(劣化を遅らせるための予防処置)を実施しました。年度中に全ネガフィルムの梱包作業を終えることができましたが、継続してネガフィルムの劣化度合に応じた処置を実施していきます。
3	歴史資料室年報の刊行	自主	8月31日刊行	第2号では、歴史資料室の主たる事業である『多摩のあゆみ』の刊行、「多摩の歴史講座」の開催、当室の調査・収集、整理・保存、利用・公開、専門職員の活動報告を紹介しました。室員の調査研究成果として、研究ノート「伊与田昌男の結核療養と写真活動」、資料紹介「写真でみる保谷町の空襲」を掲載しました。年報は当室にて編集作業および発行を行い、当財団ホームページにオンラインジャーナルとして公開しています(ISSNを取得して国立国会図書館に蔵書登録されています)。当初、予算要求していた冊子版の刊行は、当財団の組織改編に伴う名称変更を予見して実施を見送りました。

## (3) 多摩の歴史講座

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告	参加者数および視 聴者数(人)
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	
1	第27回多摩の歴史講座 (公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センターとの共催事業	共催	令和6年10月～12月	「近郊別荘と多摩」  第1講 10月18日(金) 午後2時30分～午後4時30分 「近代別荘の誕生と展開」 講師:十代田朗(國學院大學教授) 第2講 11月1日(金) 午後2時30分～午後4時30分 「武蔵野町吉祥寺の飯田別荘と郊外住宅地」 講師:高橋珠州彦(明星大学准教授) 第3講 11月15日(金) 午後1時30分～午後4時30分 見学会「国登録有形文化財 ICU泰山荘について」 講師:具嶋恵(国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館学芸員) 会場:国際基督教大学湯浅八郎記念館および泰山荘 「特別展 野川流域の旧石器時代」を三鷹市の担当学芸員の解説付きで見学 第4講 11月29日(金) 午後2時30分～午後4時30分 「多摩川中・下流域の近代別邸建築 ～旧三井家拝島別邸などを事例として」 講師:金谷匡高(世田谷区教育委員会学芸員) 第5講 12月13日(金) 午後2時30分～午後4時30分 「小金井の別荘ーはげ治いを中心にー」 講師:多田哲(小金井市文化財センター学芸員)  なお、東京市町村自治調査会による多摩交流センター事業の将来的な縮小が見込まれるため、同調査会とのより綿密な連携の仕方を協議していきます。	募集人数 70 応募人数 90 (当選 70)
2	多摩の歴史講座のオンライン配信	共催	令和7年4月～8月	第27回多摩の歴史講座を昨年同様、動画配信プラットフォームvimeoから配信しました。なお、当財団の一時移転に伴う編集作業遅延のため、配信開始を例年よりも1ヶ月遅らせて令和7年4月1日から開始しました。	視聴数 47 (令和7年4月1日～ 4月9日)

## (4) 地域とのネットワーク強化

計画事業 通し番号	計 画			報 告
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	地域とのネットワーク強化	自主	通年	国文学研究資料館(立川市)、東京都立多摩図書館(国分寺市)、東京都公文書館(国分寺市)、東京都三多摩公立博物館協議会との連携を深め、また今年度も、立川市、青梅市、八王子市等の市史編さん、文化財保護、伝統文化ふれあい事業に委員として参加して、各市町村とのネットワークの強化を継続しています。 昨年度に続き、清瀬駅開業100周年事業に関連して清瀬市・西武鉄道連携事業に協力しました。また、室員が参加する有志の研究会が長年の調査研究成果として『青梅鉄道資料調査報告 青梅鉄道のあゆみー創立から国有化までー』(青梅市郷土博物館発行)を刊行しました。
2	資料検索システムの統合検索	自主	通年	NPO法人共同保存図書館・多摩と連携・協力して、当財団所蔵図書館の書誌情報を都立図書館や市区町村立図書館などと統合的に検索できる仕組み「多摩デポ統合検索システム」の実用化に向けた研究会に参加しました。

## (5) 多摩金融史研究会の運営

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	研究会の開催および関係資料の調査・整理	自主	通年	多摩金融史研究会の会合を4回開催、『多摩のあゆみ』『多摩の金融史』連載に向けた研究発表・討議を行い、連載は令和6年度で30回目まで掲載しました。 なお、多摩信用金庫が設置したTAMA MIRAI SQUARE(多摩信用金庫旧本店)1階の「多摩の金融史」パネル展示との連携を継続しています。展示パネルの二次元コードから、電子端末で当財団歴史ホームページへリンクすることで、「多摩の金融史」の連載が容易に閲覧できるようになっています。

## (6) 広報・普及活動

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	『多摩のあゆみ』刊行等の告知	自主	通年	『多摩のあゆみ』の刊行や歴史資料室所蔵資料等の情報を、随時当財団のホームページに公開しました。 またSNS(X(旧Twitter))での情報発信をしています。
2	歴史資料室所蔵資料のデジタルアーカイブ化	自主	通年	TRC-ADEAC(株)(文京区)のデジタルアーカイブシステムに、全国150機関(図書館・博物館・大学など)とともに歴史資料室の所蔵資料を公開しています。引き続き、『多摩のあゆみ』で連載している「多摩の歴史を立体視ー赤色立体地図の風景」の地図データや誌面PDFを、毎号デジタルアーカイブで公開しています。 さらに、『多摩のあゆみ』創刊50周年記念事業の一環であるデジタルアーカイブの拡充に向けて、(公財)図書館振興財団の助成事業に美術資料室と共同で応募し、「事業名:地域資料・美術作品と『多摩のあゆみ』のデジタルアーカイブ公開事業」が採択されました。令和7年度から2か年計画で事業を進行するため、資料の再調査を先行して実施しています。  本年度(令和6年4月～令和7年3月)の総アクセス数は、629,739pv(※)です。 ※pv(page view):ページへのアクセス数の単位

収益事業

3. 物品販売事業(収1)

(定款第4条第1項第9号)

(予算額 280千円)

(1)物品販売事業

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告	売上高
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(円)
1	物品販売事業	自主	通年	令和6年度は浮世絵歌川広重「名所江戸百景」展の開催に合わせて、オリジナル絵はがきを作成し販売した。また、会期に合わせ、委託商品のバリエーションを増やしたり、陳列方法を工夫するなどして売上の増加を図った。	絵はがき 304,795 オリジナル商品 37,415 書籍類 247,830 委託商品 1,106,863 合 計 1,696,903

### 3. 管理

#### 役員等及び役員会等に関する事項

##### 1. 評議員、理事及び監事の名簿

###### ①評議員

(令和7年3月31日現在)

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	当法人以外の役職
評議員	さいとう しんいち 齋藤 慎一	令和6年6月17日から令和10年6月 開催の定時評議員会まで	非常勤	武蔵御嶽神社及び御師家 古文書学術調査団 委員
〃	おかの のりよ 岡野 法世	令和6年6月17日から令和10年6月 開催の定時評議員会まで	非常勤	陶芸家
〃	さかづめ ひでいち 坂詰 秀一	令和6年6月17日から令和10年6月 開催の定時評議員会まで	非常勤	立正大学 名誉教授
〃	もちづき かずお 望月 一雄	令和6年6月17日から令和10年6月 開催の定時評議員会まで	非常勤	画家
〃	えんどう りゅうた 遠藤 竜太	令和6年6月17日から令和10年6月 開催の定時評議員会まで	非常勤	武蔵野美術大学 教授
〃	しが ひでたか 志賀 秀孝	令和6年6月17日から令和10年6月 開催の定時評議員会まで	非常勤	府中市美術館 主任学芸員
〃	さいとう ひろゆき 齋藤 裕之	令和6年6月17日から令和10年6月 開催の定時評議員会まで	非常勤	多摩信用金庫 専務理事

②理事

(令和7年3月31日現在)

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	当法人以外の役職
理事長	やぎ としろう 八木 敏郎	令和6年6月17日から令和8年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	多摩信用金庫 会長
理事	かわぐち てつお 川口 哲生	令和6年6月17日から令和8年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	立川商工会議所 会頭
〃	むらの やすなり 村野 安成	令和6年6月17日から令和8年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	合名会社 村野醸造場 代表社員
〃	わいだ けいこ 和井田 慶子	令和6年6月17日から令和8年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	岩崎ビルディング株式会社 監査役
〃	ばば けんいち 馬場 憲一	令和6年6月17日から令和8年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	法政大学 名誉教授
〃	なかじま たかまさ 中島 孝昌	令和6年6月17日から令和8年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	中島建設株式会社 代表取締役
〃	うし やすし 宇治 康	令和6年6月17日から令和8年6月開催の定時評議員会まで	常勤	公益財団法人 立川市地域文化振興財団 理事(非常勤)

③監事

(令和7年3月31日現在)

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	当法人以外の役職
監事	おざわ のぶあき 小澤 伸光	令和6年6月17日から令和8年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	公認会計士・税理士
〃	さとう しゅういち 佐藤 収一	令和6年6月17日から令和8年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	明窓浄机館 館長

2. 評議員会、理事会に関する事項

(1) 会議開催の状況

① 評議員会

開会年月日	件名	会議結果
令和6年6月17日 (定時)	第1号議案 「令和5年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び附属明細書並びに財産目録」の承認について	可 決
	第2号議案 定款の一部変更について	可 決
	第3号議案 理事の選任について	可 決
	第4号議案 監事の選任について	可 決
	第5号議案 評議員の選任について	可 決
	報告事項① 「令和5年度事業報告」について	—
	報告事項② 八木理事長の職務執行状況報告	—
令和6年7月19日 (第2回・書面決議)	第1号議案 主たる事務所及び歴史資料室の移転について	可 決
	第2号議案 たましん歴史・美術館の閉館について	可 決
令和6年12月18日 (第3回・書面決議)	第1号議案 変更認定に伴う令和7年度事業計画および収支予算の承認について	可 決
令和7年3月13日 (第4回)	第1号議案 令和7年度 事業計画書(案)について	可 決
	第2号議案 令和7年度 収支予算書(案)について	可 決
	報告事項① 八木理事長 職務執行状況報告	—
	報告事項② 宇治業務執行理事 職務執行状況報告	—

hy

②理事会

開会年月日	件名	会議結果
令和6年5月31日 (第1回)	第1号議案 「令和5年度事業報告及び附属明細書」の承認について	可 決
	第2号議案 「令和5年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録」の承認について	可 決
	第3号議案 定款の一部変更について	可 決
	第4号議案 令和6年度定時評議員会の招集について	可 決
	報告事項① 八木理事長の職務執行状況報告	—
	報告事項② 宇治業務執行理事の職務執行状況報告	—
令和6年6月17日 (第2回・書面決議)	第1号議案 代表理事1名選定の件	可 決
	第2号議案 業務執行理事1名選定の件	可 決
	第3号議案 重要な使用人(館長)選任の件	可 決
令和6年7月11日 (第3回・書面決議)	第1号議案 主たる事務所及び歴史資料室の移転について	可 決
	第2号議案 たましん歴史・美術館の閉館について	可 決
	第3号議案 「令和6年度第2回評議員会の決議の省略方法で行うこと」の承認について	可 決
令和6年10月18日 (第4回・書面決議)	第1号議案 公益社団法人学術・文化・産業ネットワーク多摩との合意書の締結について	可 決
令和6年12月16日 (第5回・書面決議)	第1号議案 変更認定に伴う令和7年度事業計画および収支予算の承認について	可 決
	第2号議案 「令和6年度第3回評議員会の決議の省略方法で行うこと」の承認について	可 決
令和7年2月26日 (第6回)	第1号議案 令和7年度 事業計画書(案)について	可 決
	第2号議案 令和7年度 収支予算書(案)について	可 決
	第3号議案 業務委託契約(地域貢献スペース)の締結について	可 決
	第4号議案 役員賠償責任保険の契約更新及びその内容決定について	可 決
	第5号議案 令和6年度第4回評議員会の招集について	可 決
	報告事項① 一時移転に伴う立川ビジネスセンタービル使用賃借契約覚書の締結について	—
	報告事項② 八木理事長 職務執行状況報告	—
	報告事項③ 宇治業務執行理事 職務執行状況報告	—
令和7年3月28日 (第7回・書面決議)	第1号議案 多摩未来奨学金規程の制定について	可 決
	第2号議案 多摩未来奨学金選考委員会規程の制定について	可 決
	第3号議案 寄附等取扱規程の一部改正について	可 決
	第4号議案 組織規程の一部改正について	可 決

4.附属明細書

1. 令和6(2024)年度 たましん美術館実績一覧

月	開館	有料	招待	月間入館者	一日平均	入館料	ショップ売上	売上合計
4月	15	191	302	493	32.9	88,300	26,232	114,532
5月	23	313	1,033	1,346	58.5	145,000	27,507	172,507
6月	26	484	507	991	38.1	231,300	43,435	274,735
7月	16	867	723	1,590	99.4	421,000	113,737	534,737
8月	27	2,223	1,611	3,834	142.0	1,080,500	329,754	1,410,254
9月	16	1,894	1,221	3,115	194.7	925,900	255,603	1,181,503
10月	27	423	674	1,097	40.6	203,800	96,472	300,272
11月	17	335	575	910	53.5	160,800	58,297	219,097
12月	19	327	467	794	41.8	156,500	113,799	270,299
1月	18	892	843	1,735	96.4	429,100	190,001	619,101
2月	24	1,467	1,112	2,579	107.5	704,000	264,459	968,459
3月	14	1,140	777	1,917	136.9	547,400	331,108	878,508
合計	242	10,556	9,845	20,401	84.3	5,093,600	1,850,404	6,944,004

期間	展覧会名	日数	入館者数	有料	招待	一日平均	入館料	合計収入
2024/4/13～7/7	めぐる、であう コレクションのなりたち	70	3,090	1,087	2,003	44.1	511,400	614,506
2024/7/20～9/16	浮世絵 歌川広重 「名所江戸百景」	51	8,172	4,841	3,331	160.2	2,359,700	3,046,944
2024/9/28～12/22	没後20年 佐藤多持展	65	2,908	1,129	1,779	44.7	542,000	816,486
2025/1/11～3/16	源氏物語の新世界	56	6,231	3,499	2,732	111.3	1,680,500	2,466,068



### 3. 地域貢献スペース(ギャラリー)展覧会名

たましん本店2階地域貢献スペース(ギャラリー)の展示活動を多摩信用金庫からの業務委託という形で支援しました。具体的には令和6年度分の展示計画、作家の選定、展示・撤収作業の監督、広報物作成の助言等のサポートを財団学芸員が行いました。(当スペースは無料開放エリアのため、入館者数の計上はしていません)

展覧会名	会 期
松寄日奈子 個展 真綿との共生、生成	2024年4月8日(月) - 5月17日(金)
澤井昌平展—立川風景—	2024年5月27日(月) - 7月5日(金)
河野志保 個展 揺れる恒常性:情報過多の中の自己	2024年7月15日(月) - 8月23日(金)
明円光展 あひるの泉	2024年9月2日(月) - 10月11日(金)
小野仁美 個展 Boundary-less colors	2024年10月21日(月) - 11月29日(金)
わからなさのリアリティ 展	2024年12月9日(月) - 2025年1月24日(金)
立川女子高等学校からもっとアートを！展	2025年2月3日(月) - 3月14日(金)

令和6年度

# 決算報告書

公益財団法人たましん地域文化財団

## 貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
立替金	0	12,893	△ 12,893
現金	759,924	1,452,792	△ 692,868
現金	759,924	1,452,792	△ 692,868
預金	10,198,871	19,555,897	△ 9,357,026
普通預金	8,872,048	8,264,179	607,869
定期預金	0	10,000,000	△ 10,000,000
郵便貯金	1,326,823	1,291,718	35,105
棚卸資産	1,119,548	1,228,146	△ 108,598
書籍	729,468	850,333	△ 120,865
絵はがき	273,220	241,041	32,179
雑貨・文具	116,860	136,772	△ 19,912
前払費用	148,819	177,503	△ 28,684
未収金	58,220	3,744,386	△ 3,686,166
流動資産合計	12,285,382	26,171,617	△ 13,886,235
2 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	88,860,265	88,860,265	0
出資金	230,000,000	230,000,000	0
美術品(基本)	519,218,100	519,218,100	0
基本財産合計	838,078,365	838,078,365	0
(2)特定資産			
美術館事業準備積立資産	5,899,000	5,799,000	100,000
退職給付引当資産	6,750,000	7,030,000	△ 280,000
特定資産合計	12,649,000	12,829,000	△ 180,000
(3)その他の固定資産			
電話加入権	291,200	291,200	0
什器備品	3,088,410	200,684	2,887,726
ソフトウェア	88,001	1	88,000
美術品(その他)	1,440,000	1,220,000	220,000
その他固定資産合計	4,907,611	1,711,885	3,195,726
固定資産合計	855,634,976	852,619,250	3,015,726
資産の部合計	867,920,358	878,790,867	△ 10,870,509
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	628,081	869,942	△ 241,861
未払金	545,371	1,646,270	△ 1,100,899
未払費用	1,418,440	1,395,518	22,922
未払諸税	65,700	0	65,700
前受収益	1,513,143	1,447,567	65,576
賞与引当金	1,130,000	1,470,000	△ 340,000
流動負債合計	5,300,735	6,829,297	△ 1,528,562
2 固定負債			
退職給付引当金	6,750,000	7,030,000	△ 280,000
固定負債合計	6,750,000	7,030,000	△ 280,000
負債の部合計	12,050,735	13,859,297	△ 1,808,562
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	833,977,365	833,877,365	100,000
(うち基本財産への充当額)	( 828,078,365 )	( 828,078,365 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 5,899,000 )	( 5,799,000 )	( 100,000 )
2 一般正味財産	21,892,258	31,054,205	△ 9,161,947
(うち基本財産への充当額)	( 10,000,000 )	( 10,000,000 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
正味財産の部合計	855,869,623	864,931,570	△ 9,061,947
負債及び正味財産合計	867,920,358	878,790,867	△ 10,870,509

## 正味財産増減計算書

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	6,901,775	4,601,778	2,299,997
基本財産運用益	1,775	1,778	△3
基本財産受取配当金	6,900,000	4,600,000	2,300,000
特定資産運用益	3,402	242	3,160
特定資産運用益	3,402	242	3,160
固定資産受贈益	220,000	10,000	210,000
固定資産受贈益	220,000	10,000	210,000
固定資産受贈益振替分	0	0	0
事業収益	7,150,263	4,498,281	2,651,982
入館料収益	5,255,600	2,892,200	2,363,400
図録販売収益	152,400	888,100	△735,700
出版事業収益	45,360	78,408	△33,048
喫茶事業収益	0	0	0
物品販売収益	1,696,903	639,573	1,057,330
受取補助金等	0	4,230,000	△4,230,000
受取国庫補助金	0	3,730,000	△3,730,000
受取補助金	0	0	0
受取国庫助成金	0	0	0
受取民間助成金	0	500,000	△500,000
受取補助金等振替額	0	0	0
受取寄付金	84,880,000	78,880,000	6,000,000
受取寄付金	84,880,000	78,880,000	6,000,000
受取寄付金振替額	0	0	0
前受収益	0	0	0
雑収益	1,234,219	3,197,626	△1,963,407
受取利息	42,693	717	41,976
雑収益	1,191,526	3,196,909	△2,005,383
経常収益計	100,389,659	95,417,927	4,971,732
(2) 経常費用			
事業費	103,014,329	96,765,401	6,248,928
災害修復費	0	0	0
売上原価	177,736	60,658	117,078
給料手当	23,492,030	25,031,990	△1,539,960
臨時雇賃金	9,096,226	8,388,892	707,334
賞与引当金繰入	1,130,000	1,470,000	△340,000
退職給付費用	450,000	520,000	△70,000
法定福利費	5,021,466	5,003,535	17,931
福利厚生費	101,207	105,826	△4,619
旅費交通費	1,463,855	1,802,886	△339,031
通信運搬費	2,546,252	2,629,187	△82,935
支払手数料	141,156	91,028	50,128
減価償却費	393,420	131,392	262,028
消耗什器備品費	164,483	160,752	3,731
消耗品費	2,698,760	2,373,218	325,542
修繕費	0	0	0
印刷製本費	9,279,793	12,115,501	△2,835,708
燃料費	0	0	0
光熱水料費	928,000	928,000	0
賃借料	21,133,855	20,956,408	177,447
保険料	1,174,214	750,859	423,355

## 正味財産増減計算書

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
諸謝金	859,703	1,024,955	△165,252
保守管理費	2,908,000	2,908,000	0
会議費	83,012	147,187	△64,175
支払負担金	100,000	100,000	0
図書費	291,975	339,040	△47,065
委託費	10,164,434	9,045,790	1,118,644
研修費	0	0	0
宣伝費	115,000	77,600	37,400
仕入費	981,736	299,697	682,039
諸会費	305,500	302,000	3,500
雑費	7,680,750	0	7,680,750
退職金	130,000	0	130,000
雑損失	1,766	1,000	766
管理費	6,375,595	4,549,669	1,825,926
役員報酬	366,000	404,480	△38,480
給料手当	0	0	0
臨時雇賃金	630,300	0	630,300
法定福利費	196,096	228,416	△32,320
福利厚生費	7,483	18,994	△11,511
会議費	70,096	349,821	△279,725
旅費交通費	58,488	54,759	3,729
通信運搬費	398,745	420,921	△22,176
支払手数料	57,907	53,578	4,329
減価償却費	103,180	17,629	85,551
消耗什器備品費	39,029	20,880	18,149
消耗品費	135,207	148,452	△13,245
修繕費	0	0	0
印刷製本費	0	0	0
燃料費	0	0	0
光熱水料費	72,000	72,000	0
賃借料	565,163	434,379	130,784
保険料	67,956	68,401	△445
諸謝金	0	0	0
租税公課	6,740	1,700	5,040
保守管理費	92,000	92,000	0
図書費	0	0	0
研修費	56,584	16,500	40,084
交際費	102,669	218,620	△115,951
委託費	2,709,902	1,705,739	1,004,163
諸会費	232,800	219,400	13,400
雑費	407,250	3,000	404,250
雑損失	0	0	0
経常費用計	109,389,924	101,315,070	8,074,854
評価損益等調整前当期経常増減額	△9,000,265	△5,897,143	△3,103,122
基本財産評価損益等	0	0	0
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△9,000,265	△5,897,143	△3,103,122
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取保険金	0	0	0

## 正味財産増減計算書

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
退職給付引当金戻入益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除去損	0	0	0
什器備品除去損	0	0	0
固定資産売却損	0	0	0
建物売却損	0	0	0
車両運搬具売却損	0	0	0
什器備品売却損	0	0	0
土地売却損	0	0	0
借地権売却損	0	0	0
電話加入権売却損	0	0	0
災害損失	0	0	0
災害修復損失	0	0	0
災害損失	0	0	0
その他経常外費用	25,982	71,440	△45,458
その他経常外費用	0	0	0
棚卸資産処分損	25,982	71,440	△45,458
経常外費用計	25,982	71,440	△45,458
当期経常外増減額	△25,982	△71,440	45,458
他会計振替額	0	0	0
他会計からの繰入額	243,615	146,835	96,780
他会計への繰出額	243,615	146,835	96,780
法人税、住民税及び事業税	135,700	70,000	65,700
法人税等調整額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△9,161,947	△6,038,583	△3,123,364
一般正味財産期首残高	31,054,205	37,092,788	△6,038,583
一般正味財産期末残高	21,892,258	31,054,205	△9,161,947
II 指定正味財産増減の部			
受取民間助成金	0	0	0
受取寄付金	100,000	200,000	△100,000
出資金(指定)	0	0	0
公社債(指定)	0	0	0
定期預金(指定)	0	0	0
受取寄付金	100,000	200,000	△100,000
基本財産評価益	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0
基本財産評価損(土地)	0	0	0
基本財産評価損(建物)	0	0	0
特定資産評価損	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
普通預金(指定)	0	0	0
普通預金	0	0	0
受贈不動産(土地)	0	0	0
受贈不動産(土地)	0	0	0
受贈不動産(建物)	0	0	0
受贈不動産(建物)	0	0	0
当期指定正味財産増減額	100,000	200,000	△100,000
指定正味財産期首残高	833,877,365	833,677,365	200,000
指定正味財産期末残高	833,977,365	833,877,365	100,000
III 正味財産期末残高	855,869,623	864,931,570	△9,061,947

正味財産増減計算書内訳表  
令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収 1	法人会計	共通配賦	合 計
	公 1	公 2	共通	小 計				
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	6,901,765	6,901,765	10	0	0	6,901,775
基本財産運用益	0	0	1,765	1,765	10	0	0	1,775
基本財産受取配当金	0	0	6,900,000	6,900,000	0	0	0	6,900,000
特定資産運用益	191	230	2,981	3,402	0	0	0	3,402
特定資産運用益	191	230	2,981	3,402	0	0	0	3,402
固定資産受贈益	220,000	0	0	220,000	0	0	0	220,000
固定資産受贈益	220,000	0	0	220,000	0	0	0	220,000
事業収益	5,408,000	45,360	0	5,453,360	1,696,903	0	0	7,150,263
入館料収益	5,255,600	0	0	5,255,600	0	0	0	5,255,600
図録販売収益	152,400	0	0	152,400	0	0	0	152,400
出版事業収益	0	45,360	0	45,360	0	0	0	45,360
物品販売収益	0	0	0	0	1,696,903	0	0	1,696,903
受取寄付金	18,500,000	0	60,000,000	78,500,000	350,000	6,030,000	0	84,880,000
受取寄付金	18,500,000	0	60,000,000	78,500,000	350,000	6,030,000	0	84,880,000
雑収益	719,906	300,594	46,560	1,067,060	120	167,039	0	1,234,219
受取利息	6,693	0	36,000	42,693	0	0	0	42,693
雑収益	713,213	300,594	10,560	1,024,367	120	167,039	0	1,191,526
経常収益計	24,848,097	346,184	66,951,306	92,145,587	2,047,033	6,197,039	0	100,389,659
(2) 経常費用								
事業費	60,071,199	41,474,237	0	101,545,436	1,468,893	0	0	103,014,329
売上原価	71,750	23,133	0	94,883	82,853	0	0	177,736
給料手当	12,116,390	11,375,640	0	23,492,030	0	0	0	23,492,030
臨時雇賃金	5,355,006	3,741,220	0	9,096,226	0	0	0	9,096,226
賞与引当金繰入	230,000	900,000	0	1,130,000	0	0	0	1,130,000
退職給付費用	0	450,000	0	450,000	0	0	0	450,000
法定福利費	2,294,740	2,726,726	0	5,021,466	0	0	0	5,021,466
福利厚生費	32,602	68,605	0	101,207	0	0	0	101,207
旅費交通費	856,218	607,637	0	1,463,855	0	0	0	1,463,855
通信運搬費	1,108,487	1,426,516	0	2,535,003	11,249	0	0	2,546,252
支払手数料	26,526	53,754	0	80,280	60,876	0	0	141,156
減価償却費	216,203	177,217	0	393,420	0	0	0	393,420
消耗什器備品費	87,318	30,665	0	117,983	46,500	0	0	164,483
消耗品費	2,070,101	559,842	0	2,629,943	68,817	0	0	2,698,760
印刷製本費	944,737	8,335,056	0	9,279,793	0	0	0	9,279,793
光熱水料費	722,000	206,000	0	928,000	0	0	0	928,000
賃借料	20,500,016	437,924	0	20,937,939	195,916	0	0	21,133,855
保険料	1,170,317	3,897	0	1,174,214	0	0	0	1,174,214
諸謝金	52,274	807,429	0	859,703	0	0	0	859,703
保守管理費	2,682,000	206,000	0	2,888,000	20,000	0	0	2,908,000
会議費	0	83,012	0	83,012	0	0	0	83,012
支払負担金	100,000	0	0	100,000	0	0	0	100,000
図書費	9,000	282,975	0	291,975	0	0	0	291,975
委託費	7,333,515	2,830,803	0	10,164,318	116	0	0	10,164,434
宣伝費	115,000	0	0	115,000	0	0	0	115,000
仕入費	0	0	0	0	981,736	0	0	981,736
諸会費	230,000	75,500	0	305,500	0	0	0	305,500
雑費	1,617,000	6,063,750	0	7,680,750	0	0	0	7,680,750
退職金	130,000	0	0	130,000	0	0	0	130,000
雑損失	0	936	0	936	830	0	0	1,766
管理費	0	0	0	0	0	6,375,595	0	6,375,595
役員報酬	0	0	0	0	0	366,000	0	366,000
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	630,300	0	630,300
法定福利費	0	0	0	0	0	196,096	0	196,096
福利厚生費	0	0	0	0	0	7,483	0	7,483
会議費	0	0	0	0	0	70,096	0	70,096
旅費交通費	0	0	0	0	0	58,488	0	58,488
通信運搬費	0	0	0	0	0	398,745	0	398,745
支払手数料	0	0	0	0	0	57,907	0	57,907
減価償却費	0	0	0	0	0	103,180	0	103,180
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	39,029	0	39,029
消耗品費	0	0	0	0	0	135,207	0	135,207
光熱水料費	0	0	0	0	0	72,000	0	72,000
賃借料	0	0	0	0	0	565,163	0	565,163
保険料	0	0	0	0	0	67,956	0	67,956
租税公課	0	0	0	0	0	6,740	0	6,740
保守管理費	0	0	0	0	0	92,000	0	92,000
研修費	0	0	0	0	0	56,584	0	56,584
交際費	0	0	0	0	0	102,669	0	102,669
委託費	0	0	0	0	0	2,709,902	0	2,709,902
諸会費	0	0	0	0	0	232,800	0	232,800
雑費	0	0	0	0	0	407,250	0	407,250
経常費用計	60,071,199	41,474,237	0	101,545,436	1,468,893	6,375,595	0	109,389,924
評価損益等調整前当期経常増減額	△35,223,102	△41,128,053	66,951,306	△9,399,849	578,140	△178,556	0	△9,000,265
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△35,223,102	△41,128,053	66,951,306	△9,399,849	578,140	△178,556	0	△9,000,265
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
その他経常外費用	0	25,982	0	25,982	0	0	0	25,982
棚卸資産処分損	0	25,982	0	25,982	0	0	0	25,982
経常外費用計	0	25,982	0	25,982	0	0	0	25,982
当期経常外増減額	0	△25,982	0	△25,982	0	0	0	△25,982

正味財産増減計算書内訳表  
令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				取 1	法人会計	共通配賦	合 計
	公 1	公 2	共通	小 計				
他会計振替額	0	0	243,615	243,615	△243,615	0	0	0
他会計からの繰入額	0	0	243,615	243,615	0	0	0	243,615
他会計への繰出額	0	0	0	0	243,615	0	0	243,615
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	135,700	0	0	135,700
当期一般正味財産増減額	△35,223,102	△41,154,035	67,194,921	△9,182,216	198,825	△178,556	0	△9,161,947
一般正味財産期首残高	△368,782,581	△354,403,432	761,622,625	28,436,612	425,722	2,191,871	0	31,054,205
一般正味財産期末残高	△404,005,683	△395,557,467	818,817,546	19,254,396	624,547	2,013,315	0	21,892,258
II 指定正味財産増減の部								
受取寄付金	0	0	100,000	100,000	0	0	0	100,000
受取寄付金	0	0	100,000	100,000	0	0	0	100,000
当期指定正味財産増減額	0	0	100,000	100,000	0	0	0	100,000
指定正味財産期首残高	530,686,750	0	302,659,000	833,345,750	531,615	0	0	833,877,365
指定正味財産期末残高	530,686,750	0	302,759,000	833,445,750	531,615	0	0	833,977,365
III 正味財産期末残高	126,681,067	△395,557,467	1,121,576,546	852,700,146	1,156,162	2,013,315	0	855,869,623

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券……償却原価法（定額法）によっている。  
 その他有価証券（時価のないもの）……取得原価によっている。

#### (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法によっている。

#### (3) 固定資産の減価償却の方法

建物と什器備品及びソフトウェア……定率法によっている。

#### (4) 引当金の計上基準

賞与引当金……職員に対する賞与の支給に備えるため、当期に帰属する期間の支給見込み額を計上している。  
 退職給付引当金……期末退職給与の自己都合要支給額の相当額を計上している。

#### (5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理……税込み方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	88,860,265	0	0	88,860,265
出資金（多摩信用金庫）	230,000,000	0	0	230,000,000
美術品	519,218,100	0	0	519,218,100
小 計	838,078,365	0	0	838,078,365
特定資産				
美術館事業準備積立資産	5,799,000	100,000	0	5,899,000
退職給付引当資産	7,030,000	0	280,000	6,750,000
小 計	12,829,000	100,000	280,000	12,649,000
合 計	850,907,365	100,000	280,000	850,727,365

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定 正味財産から の充当額)	(うち一般 正味財産から の充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	88,860,265	( 78,860,265)	( 10,000,000)	( 0)
出資金(多摩信用金庫)	230,000,000	( 230,000,000)	( 0)	( 0)
美術品	519,218,100	( 519,218,100)	( 0)	( 0)
小 計	838,078,365	( 828,078,365)	( 10,000,000)	( 0)
特定資産				
美術館事業準備積立資産	5,899,000	( 5,899,000)	( 0)	( 0)
退職給付引当資産	6,750,000	( 0)	( 0)	( 6,750,000)
小 計	12,649,000	( 5,899,000)	( 0)	( 6,750,000)
合 計	850,727,365	( 833,977,365)	( 10,000,000)	( 6,750,000)

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

建物と什器備品及びソフトウェアの減価償却を実施した。

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却 累計額	当期末残高
什器備品	5,107,068	2,018,658	3,088,410
ソフトウェア	619,250	531,249	88,001
合 計	5,726,318	2,549,907	3,176,411

# 財 産 目 録

令和 7年 3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
<b>(流動資産)</b>					
現金 現金 預金 普通預金 多摩信用金庫国立支店 青梅信用金庫中町支店 多摩信用金庫本店 郵便貯金 ゆうちょ銀行 当座預金 多摩のあゆみ 欄卸資産 書籍  絵はがき 極貨・文具 前払費用  未収金		手元保管	運転資金 759,924円である。	759,924 759,924 10,198,871 8,872,048 5,956,229 13,021 2,902,798 1,326,823 1,326,823 1,119,548 729,468	
		多摩信用金庫国立支店 普通預金 青梅信用金庫中町支店 普通預金 多摩信用金庫本店 普通預金	運転資金として 運転資金として 運転資金として		
		ゆうちょ銀行 〇一九支店 当座預金	運転資金として		
		たましん歴史・美術館、たましん美術館	公[美術館・ギャラリーの運営事業]での図録販売と、 公2[『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業] での出版事業の在庫である。		
		たましん美術館 たましん美術館 たましんリース (株)	収[物品販売]の在庫である。 収[物品販売]の在庫である。 公益目的事業及び法人の管理運営の用に供する 電話機のリース代(賃借料)である。 3,103円 法人の管理運営の用に関わる会費である。 48,000円 会社役員賠償責任保険料である。 63,000円 令和7年度開催「春のたましんコレクション」展の案内 発送代(通信運搬費)である。 34,716円	273,220 116,860 148,819	
		全国公益法人協会	法人の管理運営の用に関わる会費である。 48,000円 会社役員賠償責任保険料である。 63,000円 令和7年度開催「春のたましんコレクション」展の案内 発送代(通信運搬費)である。 34,716円		
		立川郵便局	公2[『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業] での出版事業の売上代金である。 2,342円 公2[『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業] での出版事業の売上代金である。 1,125円	58,220	
		地方小出版流通センター	公2[『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業] での出版事業の売上代金である。 2,342円 公2[『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業] での出版事業の売上代金である。 1,125円		
		(株)けやき出版	公[美術館・ギャラリーの運営事業]でのたましん美術 館じゃらん利用入館料(3月分)1,000円 収[物品販売]のキャッシュレス決済(3月分)における 売上代金である。 53,753円		
		(株)リクルート			
		たましん美術館			
	<b>流動資産合計</b>				<b>12,285,382</b>
	<b>(固定資産)</b>				
<b>基本財産</b>					
	定期預金	多摩信用金庫国立支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業共用の 財源として使用している。	88,860,265	
	出資金 美術品(基本)	多摩信用金庫出資金 たましん美術館、武蔵野収蔵庫、 国立収蔵庫 全3,815点。	同上 公[美術館・ギャラリーの運営事業]での「たましん歴 史・美術館」「たましん美術館」における展示に使用 している。	230,000,000 519,218,100	
<b>特定資産</b>					
	美術館事業準備積立資産 退職給付引当資産	多摩信用金庫国立支店 定期預金 多摩信用金庫国立支店 定期預金	美術館事業運営のための準備積立金 5,899,000円 退職給付引当金見合の引当資産として管理している。	5,899,000 6,750,000	
<b>その他固定資産</b>					
	電話加入権 什器備品	042-574-1369他3回線 パソコンほか	公益目的保有財産である。 (共用財産)	291,200 3,088,410	
	ソフトウェア 美術品(その他)	会計ソフト 国立収蔵庫 全144点	公益目的保有財産及び、公益目的事業に必要な収益事業 等その他の業務又は活動の用に供する財産である。 法人の管理運営の用に供している財産である。 公[美術館・ギャラリーの運営事業]での「たましん歴 史・美術館」「たましん美術館」における展示に使用 している。	88,001 1,440,000	
<b>固定資産合計</b>				<b>855,634,976</b>	
<b>資産合計</b>				<b>867,920,358</b>	
<b>(流動負債)</b>					
	預り金	職員	社会保険料(賞与分) 45,315円 社会保険料(3月分) 42,315円 市町村民税(3月分) 98,900円 市町村民税(R7.4-5月分) 28,400円 雇用保険(4-3月および賞与分) 155,368円 所得税(3月分) 45,097円 社会保険料(3月分) 61,069円 市町村民税(3月分) 8,000円 雇用保険(4-3月分および賞与分) 47,620円 所得税(2~3月分) 11,340円 昼食代(3月分) 3,150円	628,081	
		パートタイマー	公[美術館・ギャラリーの運営事業]でのぐるっとバス 売上代金である。(R6.10~R7.3月分) 25,000円 公2[『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業] での『多摩のあゆみ』原稿料に係る源泉徴収税(3月分 )である。19,897円		
		ぐるっとバス	理事会における役員報酬に係る源泉徴収税である。 (3月分) 26,400円		
		多摩のあゆみ原稿料	法人の管理運営に関わる事業での法律顧問料に係る 源泉徴収税である。 10,210円		
		役員報酬	公益目的事業及び法人の管理運営の用に供する インターネットIPアドレス利用代(通信運搬費)である。 6,160円		
		法律顧問料	公[美術館・ギャラリーの運営事業]でのたましん美術 館入館用ママトリース代(委託費)である。3,293円 公[美術館・ギャラリーの運営事業]でのコピー機 使用代である。 25,949円		
	未払金	N.T.T.がらら	収[物品販売]でのスマレジ・PAYGATE利用代(支払手 数料)である。 3,300円	515,371	
		(株)武蔵野	公[美術館・ギャラリーの運営事業]でのたましん歴史 ・美術館、たましん美術館のじゃらん利用入館にかか る手数料である。 229円		
		キャノンマーケティングジャパン	収[物品販売]のグッズ委託販売の仕入費である。 5,577円		
		スマレジ	収[物品販売]のグッズ委託販売の仕入費である。 1,694円		
		(株)リクルート	収[物品販売]のグッズ委託販売の仕入費である。		
		多摩都市モノレール(株)			
		加藤 進一			
		(株)けやき出版			

## 財 産 目 録

令和 7年 3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額		
未払費用		(株) 便利堂	52,800円 取1[物品販売]のグッズ委託販売の仕入費である。 353,199円	1,418,440		
		(株) 青幻舎	取1[物品販売]のグッズ委託販売の仕入費である。 90,398円			
		フェアレ立川アート	取1[物品販売]のグッズ委託販売の仕入費である。 2,772円			
		職員	公益目的事業及び法人の管理運営の業務に従事する 職員の3月分の交通費である。 2,820円			
		職員	3月及び賞与分の社会保険料(事業主負担分) 288,189円 4~3月及び賞与分の雇用保険料(事業主負担分)246,005円			
		パートタイマー	公益目的事業及び収益目的の業務に従事するパートタイ マーの3月分の賃金である。 721,983円			
		パートタイマー	公益目的事業及び収益目的の業務に従事するパートタイ マーの3月分の交通費である。 21,458円			
		パートタイマー	3月及び賞与分の社会保険料(事業主負担分) 62,582円 4~3月及び賞与分の雇用保険料(事業主負担分)75,403円			
		未払諸税 前受収益	多摩のあゆみ定期送付申込者		公2[『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業] での、多摩のあゆみ定期送付受付時に発生する収入で ある。 1,513,143円	65,700 1,513,143
		賞与引当金	職員		公益目的事業に従事する職員に対する賞与の支払いに備 えたものである。	1,130,000
流動負債合計 (固定負債)				5,300,735		
	退職給付引当金	職員	公益目的事業に従事する職員に対する退職金の支払いに 備えたものである。	6,750,000		
固定負債合計				6,750,000		
負債合計				12,050,735		
正味財産				855,869,623		

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載しているため、内容の記載を省略している。

### 2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	1,470,000	1,130,000	1,470,000	0	1,130,000
退職給付引当金	7,030,000	450,000	730,000	0	6,750,000